

2021 年度実施概要

学校名

洋野町立種市小学校

採択活動名

「ふるさと種市—われら海の子—」

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. ぼくら種市たんけん隊（磯遊び、海の生き物図鑑作り）	3年	海洋科
2. 住みよい町 種市（海洋漂着ごみ調査、海洋防災教室）	4年	海洋科
3. 種市の森と海（植林体験、水生生物調査）	5年	海洋科
4. 種市の海・町 再発見（他地域との比較、交流）	6年	海洋科・総合的な学習

取り組みの概要

本校の海洋教育は「ふるさと種市—われら海の子—」を全学年の統一テーマとし、海に生き、海とともに歩んできた洋野町の歴史や文化に、「海に親しむ・海を知る・海を守る・海を利用する」の4つの視点を当て、自分たちが生まれ育ってきた地域に誇りを持ち、たくましく生き抜くことができる子どもを育てることを目標としている。

また、特別な教科「海洋科」を特設し、身近な海からよりグローバルな課題へと発展させられるように系統的な学習を計画している。

① ぼくら種市たんけん隊（3年 海洋科）

- ・磯遊びをとおし、海の生き物に興味を持たせた。
- ・興味をもった生き物について、くわしく調べた。
- ・学習していく中で課題を見つけ、環境保護について考えさせた。

② 住みよい町 種市（4年 海洋科）

- ・世界海洋デーに合わせて漂着ゴミ調査を行った。
- ・津波防災教室（種市高校海洋開発科出前授業）、防災施設見学（防潮堤・消防署）を通し、防災や環境保全の取り組みを学習した。
- ・八戸海上保安部、種市高校。広域連合等、他機関の協力を得ることで、よりグローバルな視点で、防災の取り組みや課題をとらえさせることができた。

③ 種市の森と海（5年 海洋科）

- ・森と海洋のつながりに気付かせつため、水生生物調査と植林体験活動を計画していたが、感染症予防対策のため、中止となった。代替活動として、林業・漁業施設の見学を行った。
- ・海洋だけでなく、地球全体の環境保全へと目を向けさせることができた。

④ 種市の海・町 再発見（6年 海洋科、総合的な学習）

- ・これまでの海洋学習をふまえ、学習成果をまとめ、海洋サミットに参加した。代表児童が水産資源と海洋環境保全の関わりをテーマに発表した。

・海洋サミットで他校と交流することで、種市を再認識したり、より広い視野で課題をとらえたり、未来を展望したりすることができた。

活動中の写真



八戸海上保安部と連携した
海浜清掃（4～6年）と
漂着ゴミ調査



防潮堤の見学（4年）



栽培漁業センターの見学（5年）